

# わが国の災害対策の現状

- 阪神・淡路大震災以後、被害軽減すなわち、減災にシフトしている。
- 異常外力発生の場合には、ハード整備だけでは限界がある(財政的、物理的)
- 減災対策における共働とは、ある程度の被害は甘受せざるを得ないということである。
- 高齢者などの要援護者の被害を軽減する鍵は情報にある。